

# 昭和館 だより

第16号

平成23年6月1日発行

## 平成23年度 昭和館カレンダー

年月	常設展示室	特別企画展	コンクール
23年4月	4/29 (昭和の日) は入室無料	「ポスターに見る戦中・戦後」(3/19~5/15) 「昭和の日記念特別上映」(4/23~5/6、ニュースシアター)	
5月			
6月	6/28~29 (資料交換のため休室)		高校生ポスターコンクール募集開始 小・中学生作文コンクール募集開始
7月		「配給制度と人々の工夫 -戦後復興までの道のり-」(7/23~8/28)	
8月			
9月			応募期間
10月		「語り伝えたい戦中・戦後の暮らし」(巡回展)(10/8~16 夏型豊後山口市)(10/22~30 山口県山口市)	
11月			
12月			
24年1月	1/29~30 (資料交換のため休室)		締め切り(1月)
2月			審査
3月		「街頭紙芝居と国策紙芝居(復権)」(3/17~5/6)	発表

### その他

※特別上映会を企画しています。(「疎開」をテーマとした昭和館制作のオリジナル映像作品など)

## 第9回 昭和館見学作文コンクール 審査結果

次の方々が入賞されました。おめでとうございます。(敬称略)

各賞	都道府県	学校名	氏名
厚生労働大臣賞	千葉県	佐倉市立上志津小学校	松崎 詩織
昭和館館長賞	埼玉県	さいたま市立大谷小学校	倉原 麻里夏
優秀賞	千葉県	柏市立土小学校	池森 結花
優秀賞	千葉県	柏市立土小学校	北原 美夏
優秀賞	埼玉県	浦和明の星女子中学校	ターン有加里・ジェシカ
優秀賞	千葉県	千葉市立こてはし合小学校	三木 沙織
優秀賞	東京都	葛飾区立本田小学校	林 結吾
優秀賞	山形県	寒河江市立南部小学校	菅井 和
優秀賞	東京都	葛飾区立新宿小学校	萩上 遼
優秀賞	東京都	葛飾区立本田小学校	藤田 古杜葉

この他、佳作26作品

## 第3回 昭和館高校生ポスターコンクール 審査結果

次の方々が入賞されました。おめでとうございます。(敬称略)

各賞	都道府県	学校名	氏名
最優秀賞	埼玉県	小松原女子高等学校	根市 美花
優秀賞	北海道	富良野緑蔭高等学校	天笠 奈津美
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	泉 湧大
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	岩切 智早
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	黒木 真希
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	黒木 桂吏
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	佐藤 未遊
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	橋本 大梧
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	宝徳 美咲
優秀賞	宮崎県	宮崎県立佐土原高等学校	津田 優優

この他、佳作10作品

入賞作品は、後日、多くの方にご覧いただくことを予定しております。

## 学校団体見学の予約手順



## 昭和館を見学する学校団体への対応

- ①説明対応が選べます**
  - 事前説明: 見学の前に、説明員から館内の概要説明を10分程度いたします。
  - 同行説明: 説明員が1クラスに1名付き添い、常設展示室をご案内いたします。(2クラスで約1時間、3クラスで約1時間30分。要予約・先着順)
- ②180名収容の昼食会場**

3階研修室を昼食会場として、利用いただいております。(昼食時間は30分以内・要予約)  
到着時間が前後して、他校の予約と重なり、研修室の収容人数を超えた場合は、昼食の時間を変更させていただくことがあります。
- ③駐車場について**

バスでご来館の場合は事前にご連絡下さい。

## 学校教職員下見用 (コピー可) 常設展示室 無料入場券

■期日 年 月 日

■学校名

■ご芳名

他 名

お気軽に下見にご来館ください。  
本券を1階受付にご提示いただければ無料で見学できます。

本誌を読まれたご感想、当館へのご意見、実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 昭和館 総務部  
TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575  
toiawase@showakan.go.jp  
http://www.showakan.go.jp



## 応募券

左の応募券を切り取り、はがきに貼って、昭和館 総務部までご郵送ください。ビデオDVD「ショーコちゃんの昭和館を見よう」を学校にお送りいたします。



昭和館が、  
戦中・戦後の人々の生活を、  
後世代に伝えます。

昔の人は、  
どんな生活を  
していたんだろう。

昭和館を見て、  
昔の生活を  
学ぼう。



## 7・6階 常設展示室

昭和館の常設展示室では、昭和10年(1935)頃から昭和30年(1955)頃までの実物資料や写真・映像を展示しています。

展示資料の中には、戦中・戦後の学校の様子や給食、おもちゃなども紹介していますので、今のみなさんのくらしと比べてみてください。



給食は、戦後の食糧難で栄養失調が多かった子どもたちのために、海外の援助によって始められました。



学童疎開先での食事(復元)  
(さつまいも入りの味付けご飯)

戦後の給食(復元)  
(コッペパンと脱脂粉乳)

## 和男くんの防空探検(7階「銃後の備えと空襲」)

和男くんを動かして、防空対策をしてみよう。



昭和館には防空壕のジオラマもあるよ。壕の中を体験してみようね!

どんなものが必要なのか、ゲームで学べるよ!



クイズ

これなあに?

答えは6階「体験ひろば」の「バーチャルこれなあに?」で調べてね!



ヒント

これによって女性の仕事が半減しました。  
水と洗剤が必要です。



ヒント

何かを削る道具です。  
削ったものは食べられます。

## 5階 映像・音響室

写真紹介

まだテレビがなかった時代、紙芝居は子どもたちの楽しみの一つでした。紙芝居屋は自転車の後ろに演台を乗せ、神社の境内や空き地、路地裏などで上演していました。紙芝居屋の売るアメを買った子どもだけが、正面から紙芝居を見ることができたようです。



「紙芝居を熱心に見つめる子どもたち」  
栃木県鹿沼市 昭和22年(1947)~27年(1952)頃  
撮影:ティムトリー・ポリア



## 4階 図書室

図書紹介

戦中・戦後に子どもたちが慣れ親しんだ「紙芝居」。街頭でアメやお菓子が売られ、そのおまけとして紙芝居が上演されました。突如、天空から現れて弱者を救う正義の味方「黄金バット」は、子どもたちのあこがれでもありました。

戦時中には、国民の戦意を高めるために政府が時局紙芝居の制作を奨励し、隣組や教育の現場での実演を強制していました。



調べ学習に役立つ本がたくさんあるよ。

【アサヒグラフ別冊 戦中・戦後紙芝居集成】



左「アサヒグラフ別冊 戦中・戦後紙芝居集成」  
中「紙芝居と戦争—銃後の子どもたち」  
右「紙芝居大系(全14巻)」



## 紙芝居定期上演会

昭和館で所蔵する紙芝居約400点を、生きた資料として活用するため、実際に演じていただく紙芝居の定期上演会を行っています。演じるのは紙芝居師の梅田佳声さん他2名。かつての子どもたちを楽しませた紙芝居をぜひご覧ください。

〈梅田佳声さんプロフィール〉

昭和3年、東京都中央区霊岸島の生まれ。20歳で芸能界入り、俳優や漫才を経験。30歳の時、病気で芸能界を引退。印刷会社に就職。昭和56年、台東区立下町風俗資料館にて、紙芝居の実演を開始。現在に至る。

上演日 毎月第4日曜日  
会場 昭和館1階ニュースシアター  
時間 ①13:00~ ②14:00~ ③15:00~

